

筆記試験対策講座

道路 Ⅱ 選択科目対策 ～サンプル～



Ⅱ 選択科目対策Ⅱ－2

成績A再現答案の整理例

(令和3～5年度)

本資料の使い方

- Ⅱ選択科目Ⅱ－２は、過去の回答パターンを多く知っておくことが重要です。**業務遂行手順、留意点、関係者調整等について、過去の回答パターンを修得するためにご活用ください。**
- 本資料は令和３～５年度の問題を整理していますが、**それ以外の問題については、ご自身で成績Aの再現答案等の整理を進めてください。**

本資料の構成

- 整理方法
- 出題傾向
- 各問題の再現答案の整理例※
 - ・問題文
 - ・問題文の解説
 - ・再現答案の整理例（概要）
 - ・再現答案の整理例（詳細）

※出題傾向で示す問題の順番で整理

整理方法

○参考とした資料

- ・成績A再現答案※

※Ⅱ－1とⅡ－2の合計が成績Aの再現答案

○整理方法

- ・複数の答案を確認して要点を抽出し、整理例を作成※
- ・整理例では、学習用に表現や内容を適宜変更

※一つの整理例は3,000字程度のものもあるが、整理例の全ての内容を答案用紙2枚（1,200字）で記述するわけではない。

出題傾向

1. 道路計画

- ・ 令和 5 年度Ⅱ-2-1：駅前交通拠点（特定車両停留施設）計画
- ・ 令和 4 年度Ⅱ-2-1：地域活性化を目的としたスマートIC計画
- ・ 令和 3 年度Ⅱ-2-1：生活道路の交通安全対策（未就学児向け）

2. 道路工事

- ・ 令和 5 年度Ⅱ-2-2：交差点立体化の鋼橋架設工事
- ・ 令和 4 年度Ⅱ-2-2：高規格道路4車線化の地すべり対策
- ・ 令和 3 年度Ⅱ-2-2：高速道路橋梁の床版取替工事

I 道路計画

令和 5 年度 Ⅱ-2-1

問題文

<設問>

A市における中心駅の駅前において、鉄道とバス・タクシー等の乗り換え利便性向上や各交通機関の待合環境の改善等を目的として、新たな交通拠点（特定車両停留施設）を計画することとなった。この計画を担当する責任者として、下記の内容について記述せよ。

（１）計画を具体化するに当たり、調査、検討すべき事項とその内容について説明せよ。

（２）業務を進める手順について、留意すべき点、工夫を要する点を含めて述べよ。

（３）業務を効率的、効果的に進めるための関係者との調整方策について述べよ。

問題文の解説

令和5年度Ⅱ-2-1：駅前交通拠点（特定車両停留施設）計画

<問題文の重要ポイント>

- ・「**A市における中心駅の駅前**」という具体的な位置設定
- ・「**鉄道とバス・タクシー等の乗り換え利便性向上や各交通機関の待合環境の改善等を目的として**」という複数の明確な目的設定
- ・「**特定車両停留施設**」という具体的な施設タイプの指定

<特徴的な点>

- ・「**中心駅の駅前**」という都市の核となる場所での計画であり、影響範囲が広い
- ・「**乗り換え利便性向上**」と「**待合環境の改善**」という複数の目的が明示されており、多角的な検討が必要
- ・緊急性よりも計画性・利便性が重視されている

再現答案の整理例（概要）

1. 調査、検討すべき事項の例

- ・ 上位計画・関連計画の確認
- ・ 公共交通調査
- ・ 交通量及び交通網調査
- ・ 交通特性の把握
- ・ 土地利用の把握
- ・ 道路構造等調査
- ・ 整備計画の検討

2. 業務を進める手順の例

- ①調査
- ②分析
- ③計画立案
- ④検証・評価

3. 関係者との調整方策の例

- ・ ステークホルダー全般
- ・ 交通事業者
- ・ 地域住民
- ・ 警察

1. 調査、検討すべき事項の例①

○上位計画・関連計画の確認

- ・総合計画、地域公共交通計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画等の**上位・関連計画**における**交通拠点の位置づけ**や**将来目指すべき姿**を把握する。
- ・総合計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画、地域計画マスタープランなどを調査し、整合性を図る。

○公共交通調査

- ・**公共交通**の運行状況を調査し、公共交通機関の利用上の**課題を整理**する。
- ・鉄道、バス、タクシーの**利用状況**、**収支状況**などを調査し、集約型公共施設の検討を行う。
- ・**効果の検証**などに利用するために、鉄道・バス等の**運行ルート**、**乗降者数**を調査する。

○交通量及び交通網調査

- ・中心市街地の**道路配置**、**交通量**、**歩行者交通量**など道路の状況を調査し、道路利用上の**課題を整理**する。
- ・駅前の一般車、バス、タクシーの**交通量**及び周辺の**交通網**を調査する。
- ・駅前の**利用者**（時間別・曜日別・年齢別）の調査を行う。
- ・専用レーンなどの検討のために駅前の**渋滞状況**を調査する。
- ・駅周辺の**交通ネットワーク**を調査する。

1. 調査、検討すべき事項の例②

○交通特性の把握

- ・ 走行区間、拠点等の都市計画の位置づけやパーソントリップ調査等で交通特性を把握する。
- ・ 現地調査で周辺道路の混雑状況や人の動きを確認する。
- ・ 交通拠点の使用可能な面積、各交通モードの交通量と乗客量、道路状況、商業施設の立地状況、各種法令の規制などを調査し、課題を把握する。
- ・ 交通機関の利用状況（利用者数、混雑時間、利用者特性など）、周辺商業施設の立地状況、一般車両交通量などを調査し、乗り換えの利便性の改善策を検討する。

○土地利用の把握

- ・ 周辺の用途、施設配置、駐車場の配置等を確認する。

○道路構造等調査

- ・ 駅前周辺の歩道や自転車道の位置関係、駐車場や待合スペースなど道路構造を調査する。
- ・ 道路の構造（車線数、幅員、路肩の有無等）、停留所の構造（位置、スペース、段差の有無等）を調査し、待合環境の改善などを検討する。

1. 調査、検討すべき事項の例③

○整備計画の検討

- ・ 新たな交通拠点の**整備の方向性**（**マルチモードバスタ**など）や**官民連携の在り方**（交通事業者が市街地再開発事業を行うなど）を検討する。
- ・ 新たな交通拠点について、利用目的や交通量に応じた**規模**や**構造**などを検討する。
- ・ **BRT、AIオンデマンド交通、シェアカー、シェアサイクル、電動キックボード**など**新交通の導入**について検討する。
- ・ **待合室の規模や内容、駐輪場・駐車場、みち・えき・まちが一体となった空間整備**などを検討する。
- ・ 利用者の利便性向上など**費用対効果**を検討する。

2. 業務を進める手順、留意点の例①

①調査

- ・ **利用目的**や**問題点**などを把握するために**アンケート**や**ヒアリング**などの**利用者調査**を行う。
- ・ **スマートフォンの移動履歴**や**プローブデータ**も活用し、**交通量調査**を行う。

②分析

- ・ 上位・関連計画を踏まえ、**交通結節点としての機能**や**必要性**を分析・評価する。
- ・ **利用目的、交通量、運転手の視距**などを考慮に入れ、**交通シミュレーション**を行いながら、**特定車両停留施設の規模、構造、費用対効果**などを検討する。
- ・ 例えば**公共交通と周辺の店舗や施設が連携したまちづくり**など整備方針を作成する。

2. 業務を進める手順、留意点の例②

③計画立案

- ・調査・検討を基に、利用者の**安全性、バリアフリー化、ユニバーサルデザイン**などに考慮し、交通事業者と協議の上、具体的な計画を立案する。
- ・**バリアフリー、オンラインによる停留許可、防災施設**などを考慮に入れ、**特定車両計画施設**を計画する。
- ・既存の交通機関に加え、**BRTの導入**を検討する。
- ・例えば、利用者数に合わせた待合室のベンチの数、バリアフリーに配慮したコンコースなど、**交通量や運行時間、利用特性**などに留意して、計画を立案する。

④検証・評価

- ・計画に基づき**社会実験**を行い、事業費、効果、課題を把握し、事業の実現性を検討する。
- ・整備した施設が機能を発揮し、整備効果が発現し、目指す将来像が実現されるよう**評価項目を設定**し、継続的に効果の検証を行う。
- ・バス、タクシー、鉄道等の**交通の変化**を検証する。
- ・交通拠点周辺の商店街の売上額の変化、**人流の増減**を検証する。

本資料はサンプル版です。
実際の教材では、最後まで掲載しています。